

学校評議員会 議事録

校名	大阪府立水都国際中・高等学校
校長名	井上 省三

開催日時	令和 5年 3月 3日(金)18:00 ~ 19:00
開催場所	大阪府立水都国際高等学校(新校舎)2階会議室
出席者(委員)	鉄谷明、岡田昭人、千種由美、鳥山有希、前田善久、牧美恵
出席者(学校)	井上省三、ジョンボディング、太田晃介、上床敦、小西雄希
傍聴者	2名
意見聴取に係る資料	資料1～資料4
備考	

議題等(次第順)	
<p>1. 校長挨拶 2. 第二回学校評議員会議事録確認 3. 令和4年度学校評価 4. その他 5. 副校長挨拶 6. 閉会</p>	
<p>1. 校長挨拶 ・開校4年目で教育内容も理解を得られ、中学校の志願者数が入学者数に対して約5倍、高等学校の志願者数が入学者数に対して約1.8倍となった。 高等学校については、志願者数が大阪市内と市外が半分ずつの割合となった。 今後も本校の教育目標を目指し、しっかりとしたアドミッションポリシーを表出していく。</p> <p>2. 鉄谷会長挨拶 新校舎が完成し、ハード面が充実した。更なる教育の質の向上を目指し、チャレンジな生徒の育みを期待。 グローバル人材を育む学校が増えている中、より一層の水都らしさを明らかにし、運営法人のYMCAのマインドやIBの全人教育を掲げ、より創造性を高める教育を推進する事に期待する。</p> <p>3. 第二回学校評議員会議事録確認(小西) 前回の学校評価中間報告と評議員からの意見を確認した。 2月に行ったアカデミックフェアにてプレゼンを通して課題解決に取り組む生徒の姿や批判的思考を体現するTOKの成果を発表する事ができた。 学力の向上の成果として、今年度高校3年生が71名卒業し、合格者も国公立1名、海外5名、総合型／学校推薦64名、指定校推薦5名という結果が出ている。 生徒指導に関しては、挨拶や登下校のマナーについて再度指導を行い、また新学期には挨拶・マナー強化を行う。 内進生・外進生の交流のベースを3月11日のオリエンテーションにて共有していく。 地域との関わりとしてはサキシマミーツで生徒のプレゼンを行い、外部団体との交流促進の一步となった。</p>	

4. 学校評価

4-1. 中学校(上床)

「本年度の取り組み内容及び自己評価」に基づき報告を行った。

- ・授業満足度調査については保護者の肯定的な回答が74%(目標80%)にとどまったのは、学校に来る機会が少なくコミュニケーションの機会が減った事を起因としていたが、後半の機会が増える事で良好な声を聞く事ができている。
- ・授業外学習時間の確保が平日55分(目標1時間30分以上)にとどまっているのは、探究が多いためプレゼンの練習や調査・ミーティング・行事参加にあてる時間が多いためこの数字に留まっている。目標の立て方を再検討する必要がある。
- ・年一回以上の大会・コンテストに出場者を全生徒の20%にするは、コロナでの大会の中止等が相次いだため8%にとどまった。次年度目標値に向けて各教科で大会・コンテストに向けて取り組みを行う。
- ・勤怠管理システムの導入を行う。については、出勤簿での時間管理の把握を行えるように改善した。

4-2. 高等学校(太田)

「本年度の取り組み内容及び自己評価」に基づき報告を行った。

中学校と重なる箇所については割愛し、特筆すべき点のみ報告を行った。

- ・TOK校内研修会は目標3回に対して2回であった。セミナー開催は2回であったが、ティーミングにてOJTを行い、次年度の4クラス展開に向けてトレーニングを行い、体制を整えている。
- ・教育産業が提供する外部評価基準においてCDゾーンを20%にするという目標に対して高校2年生が37%となった。これについては各教科の補習を進め目標達成を目指す。
- ・その他IBコース2期生6名全員がディプロマを取得した。コロナ特別措置期間のため成績が出やすい期間であった事を認識した上で次年度のディプロマ取得に向けて教育を推進。
- ・IB生の進路は国内2名、海外4名となる。
- ・IB3期生は21名。授業人数が増えるためディスカッションをより深める。
- ・次年度は高校生活の基盤を整える意味で生徒指導を厚くしていく。
- ・次年度7月にはマレーシア研修、夏にはオーストラリア・ハワイのホームステイ等の海外研修を充実させる。

5. 評議員からの意見

(鉄谷)コンテスト・大会の参加者数については延べ人数で計算されますか？

→(太田)はい。延べ人数でカウントします。

(岡田)「個性を見つけ、可能性を伸ばす」の目標のキャリア教育についてですが、今年度卒業の生徒はあまり来校できなかつたり、リアルでの体験が少なく、ビジョンが開けていない生徒が多いと思いますが、今後のキャリア教育はどのように展開していきますか？

→(太田)SAで全学年が外部に出て活動を行い、多学年の関わり・外部の関わりは推進できています。個性を伸ばす事についてもEポートフォリオの作成や外部コンテストの結果について教員のフィードバックを行いながらサポートしています。進路指導において個々にカウンセリングを行いキャリア意識の形成を行っています。

(牧)サキシマミーツでの生徒のプレゼンが素晴らしかった。より地域との関わりを進めてほしい。

6. その他(小西)

今年度の評議員の皆様への感謝。任期については1年ですので、校内で検討の上、次年度についての詳細については改めてご連絡いたします。

次回の会議日程

日時	令和5年 6月以降を予定
会場	大阪府水都国際中学校・高等学校(新校舎) 2階会議室